

# ちゅらゆいづくり関係事業 「令和5年度事業実施報告」及び 「令和6年度事業計画」

1. 犯罪被害回避能力の向上	【県警察本部生活安全部生活安全企画課】	70
2. 外国人を始めとする観光客等の安全確保	【県警察本部生活安全部生活安全企画課】	72
3. 適正飲酒対策の推進	【県警察本部生活安全部生活安全企画課】	76
4. 「ちゅらさん運動フェスティバル(防犯フェア)」	【県警察本部生活安全部生活安全企画課】	78
5. 防犯活動への支援	【県警察本部生活安全部生活安全企画課】	80
6. 防犯ポスター・標語・青パト活動写真の募集	【公益財団法人沖縄県防犯協会連合会】	82
7. 安全な観光地づくり事業	【一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー】	86
8. 「犯罪被害者支援を考える県民の集い」	【公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター】	90
9. 犯罪被害者支援に関する市町村「出前講座」及び「法律相談」	【公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター】	92
10. 観光危機管理体制構築支援事業	【県文化観光スポーツ部観光振興課】	94

「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告

【県警察本部生活安全企画課】

1 事業名	犯罪被害回避能力の向上	決算額													
		816 千円 ※安心ゆいメール委託料													
2 目的	子供の安全・安心を確保するため、犯罪被害に遭わないための回避能力及び防犯意識の高揚を図る。														
3 実施時期	通年														
4 実施結果	<p>(1) 子供の安全対策</p> <p>子供を対象とした犯罪等は、行為者が甘言や詐言を用いるもの、暴行や脅迫、あるいは刃物等の凶器による傷害、車両を使用しての略取など、極めて悪質な手口により犯罪が敢行される実態がある。</p> <p>本県においても車両を使用した声かけ・つきまとい事案、陰部を露出する公然わいせつ事案、肩や手等を触る身体接触事案等が発生していることから、子供を犯罪から守るための安全対策の取組を強化した。</p> <p>○ 不審者侵入・声掛け訓練                      ○ いかのおすし防犯講話</p> <p>○ 子ども110番の家の周知                      ○ 登下校見守り活動</p> <p>(2) 自転車鍵掛け甲子園の開催</p> <p>ア 開催期間：令和5年7月13日から同年9月22日までの間</p> <p>イ 参加校：47校（うち中学校13校、高等学校34校）</p> <p>ウ 概要</p> <p>期間中、警察職員等が月1回ランダムに参加校に立ち寄り、駐輪場に駐車している自転車の施錠状況等（施錠率及び防犯登録加入率等）を調査し、優勝校及び優良校に、ちゅらうちな一安全なまちづくり推進会議会長賞（県知事賞）を授与するもの。</p> <p>エ 開催結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">Aブロック(100台以上)</th> <th style="text-align: center;">Bブロック(50~100台未満)</th> <th style="text-align: center;">Cブロック(50台未満)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">優勝校</td> <td style="text-align: center;">石垣中学校</td> <td style="text-align: center;">羽地中学校</td> <td style="text-align: center;">具志川高等学校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優良校</td> <td style="text-align: center;">那覇工業高等学校</td> <td style="text-align: center;">屋部中学校</td> <td style="text-align: center;">真和志高等学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ 参加校による主な取組み</p> <p>○ 生徒会等による登下校時間の施錠呼び掛け</p> <p>○ 駐輪場への防犯カメラ設置及び環境整備</p> <p>○ のぼり旗や生徒が作成したポスターの掲示</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">【のぼり旗とポスターの掲示状況】</p> <p>(3) 安心ゆいメールの登録促進</p> <p>不審者情報や防犯情報等を配信する「安心ゆいメール」について、子ども・女性安全モニター会議、学校・警察連絡協議会等の場において、配信事例を紹介しながら、周知及び登録促進の働き掛けを行った。令和5年12月現在、登録者数約14,300人。</p>				Aブロック(100台以上)	Bブロック(50~100台未満)	Cブロック(50台未満)	優勝校	石垣中学校	羽地中学校	具志川高等学校	優良校	那覇工業高等学校	屋部中学校	真和志高等学校
	Aブロック(100台以上)	Bブロック(50~100台未満)	Cブロック(50台未満)												
優勝校	石垣中学校	羽地中学校	具志川高等学校												
優良校	那覇工業高等学校	屋部中学校	真和志高等学校												
5 効果	犯罪被害の対象となりやすい子供の犯罪被害回避能力を高めることで、被害の未然防止を図り、安全・安心な沖縄県の実現を図る。														
6 備考															

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画**

**【県警察本部生活安全企画課】**

<b>1 事業名</b>	犯罪回避能力の向上（継続）	予算額
		－ 千円
<b>2 目的</b>	子供の安全・安心を確保するため、犯罪被害に遭わないための回避能力及び防犯意識の高揚を図る。	
<b>3 内容</b>	<p>(1) 子供の安全対策</p> <p>子供を対象とした犯罪等は、行為者が甘言や詐言を用いるもの、暴行や脅迫、あるいは刃物等の凶器による傷害、車両を使用しての略取など極めて悪質な手口により犯罪が敢行されている実態にある。</p> <p>本県においても車両を使用した声掛け、つきまとい事案、公然わいせつ事案等が発生していることから、子供を犯罪から守るため、引き続き下記の安全対策について取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不審者侵入・声掛け対応訓練</li> <li>○ いかのおすし防犯講話</li> <li>○ 子ども110番の家の周知</li> <li>○ 登下校見守り活動</li> </ul> <p>(2) 自転車鍵掛け甲子園の開催</p> <p>令和5年中における自転車盗難被害者の52.2%が小中高生、更に78%が無施錠での被害となっていることから、自転車の施錠徹底を習慣化させることで、将来の沖縄県を担う児童生徒の犯罪被害回避能力や規範意識の向上を図ることを目的に開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開催期間：6月～9月頃を予定</li> </ul> <p>(3) 安心ゆいメールの登録促進</p> <p>県警察では、平成21年から地域の安全に関する情報を迅速かつ具体的に発信し、事件・事故の未然防止や自主的な防犯活動等に活用できるよう登録会員に対し、安全に関する情報を配信している。</p> <p>県民に対し、地域の安全及び自主防犯活動等に役立ててもらうため安心ゆいメールの周知及び登録促進を図る。</p>	
<b>4 実施時期</b>	通年	
<b>5 効果</b>	犯罪被害の対象になりやすい子供の犯罪被害回避能力を高めることで、被害の未然防止を図り、安全・安心な沖縄県の実現を図る。	
<b>6 備考</b>		

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告**

**【県警察本部生活安全企画課・地域課】**

<p><b>1 事業名</b></p>	<p>外国人を始めとする観光客等の安全確保</p>	<p style="text-align: center;">決算額 — 千円</p>
<p><b>2 目的</b></p>	<p>外国人を始めとする入域観光客数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け一時的に減少したが回復の兆しを見せている。入域観光客の増加は今後も観光産業等の基盤となるものであり、これら観光客の事件・事故を未然に防止するため、観光客が利用する施設や店舗、窓口等において防犯情報を提供するほか、事案発生時には、迅速的確に対応することができるよう諸対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を目指す。</p>	
<p><b>3 実施時期</b></p>	<p>通年</p>	
<p><b>4 実施結果</b></p>	<p>(1) 観光施設や事業所等と連携した防犯情報の発信等 観光客を対象とした車上狙いや置引きなどの犯罪被害は、後を絶たないことから、観光客が立ち寄る機会の多い観光施設や、関係事業所等と連携し防犯情報の発信や各種訓練を実施した。</p> <p>○ 犯罪被害防止対策 モノレール駅及び周辺の駐車場における警戒を制服警察官が実施することで、車上ねらいや痴漢被害防止等の街頭犯罪未然防止活動を実施した。 併せて、観光客等に対する注意喚起、モノレール駅管理者に対する防犯対策強化等と呼び掛けた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;"><b>【制服警察官による警戒状況】</b></p> <p>○ 不審者（テロ）対処訓練 令和5年9月26日、各種スポーツイベントや催し物が開催される奥武山公園において、テロ等の未然防止対策、事案対処能力の向上、関係機関との連携強化を図るため、同公園管理事務所職員との合同による不審者（テロ）対処訓練を実施した。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;"><b>【合同訓練の状況】</b></p> <p>(2) 外国人留学生等に対する防犯講話 日本語学校等に通う外国人留学生や、企業への技術研修などで長期滞在している外国人は、自国の法律、文化や慣習の違いから、被害者のみなら</p>	

ず加害者となる可能性もあることから、安全確保対策として、日本語学校や受け入れ先企業に赴き防犯講話を実施した。

(3) 初期対応に備えたコミュニケーションツールの活用

ア 支援ボードのリニューアル

令和5年9月、交番・駐在所、警察窓口に備付けの「コミュニケーション支援ボード（拾得・遺失物、物損事故等）」をベトナム語の説明書き等を追加した改定版にリニューアルした。

イ 多言語アプリ等の効果的活用

県警察が活用している装備資機材PⅢ（高度警察情報通信基盤システム）の通訳アプリ（多言語翻訳機能）を活用して外国人に対応した。

ウ ネットワークを利用した対応

交番等と警察本部（通訳者）をネットワークでつなぎ、外国人とパソコン画面を通じて対面で対応した。



5 効 果

- 留学生等に対する防犯講話及び観光客等に対する広報活動により、滞在中の防犯意識を高めることができた。
- 「コミュニケーション支援ボード」及び「多言語通訳アプリ」等の活用により、外国人との迅速的確な初期的対応が可能となった。

6 備 考

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画**

**【県警察本部生活安全企画課・地域課】**

<b>1 事業名</b>	外国人を始めとする観光客等の安全確保（継続）	予算額
		－ 千円
<b>2 目的</b>	<p>外国人を始めとする入域観光客数は、コロナ禍が明けて回復を見せている。入域観光客の増加は、今後も観光産業等の基盤となるものであり、これら観光客の事件・事故を未然に防止するため、観光客が利用する施設や店舗、窓口等において防犯情報を提供するほか、事案発生時には、迅速的確に対応することができるよう諸対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を目指す。</p>	
<b>3 内容</b>	<p>(1) 観光施設や事業所等と連携した防犯情報の発信 例年、車上ねらいや置ききなど観光客が被害に遭う事案が後を絶たないことから、観光客が立ち寄る機会の多い観光施設や、関係する事業所等と連携し、防犯情報を発信して被害を未然に防止する。</p> <p>(2) 外国人留学生等に対する防犯講話 日本語学校等に通う外国人留学生や、企業への技術研修などで長期滞在している外国人は、自国の法律、文化や慣習の違いから被害者のみならず、加害者となる可能性もあることから、学校や受入れ企業に働き掛けを行うなどして防犯講話を行う。</p> <p>(3) 初期対応に備えたコミュニケーションツールの活用 ア 交番・駐在所、警察窓口に備付けの「コミュニケーション支援ボード」を効果的に活用する。 イ 多言語アプリ等の効果的活用 県警察が活用している装備資機材「PⅢ(高度警察情報通信基盤システム)」の通訳アプリを効果的に活用する。 ウ ネットワークを活用した対応</p>	
<b>4 実施時期</b>	通年	
<b>5 効果</b>	<p>外国人を始めとする観光客等が必要とする防犯情報を発信することで、県内滞在中の犯罪被害回避能力を高めて、被害を未然に防止することができるほか、帰国後も沖縄の良好な治安環境が周知されることに加え、沖縄県及び沖縄観光コンベンションビューローが推進する「ウェルカムんちゅ」運動と連動して、好調な観光産業を後押しする。</p>	
<b>6 備考</b>		



「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告

【県警察本部生活安全企画課】

1 事業名	適正飲酒対策の推進	決算額 — 千円
2 目的	多量飲酒等による事件・事故、健康障害、少年の飲酒問題等が様々な分野に悪影響を与えていることから、「アルコール関連犯罪の防止」対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を図る。	
3 実施時期	通年	
4 実施結果	<p>(1) 適正飲酒推進優良事業者認定制度の運用 平成 31 年 1 月 28 日から運用開始した同制度について、令和 5 年度中各地区安全なまちづくり推進協議会（各市町村の長が会長）による積極的な働きかけにより、8 地区推進協議会から 42 事業所（令和 6 年 3 月末時点）に認定証を交付。（累計 366 事業所を優良事業者として認定）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【各地区推進協議会における適正飲酒優良事業者認定交付式】</p> <p>(2) 関係機関と連携した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ラジオ広報や大型ビジョン等を活用した動画の配信</li> <li>○ 事業者等に対する適正飲酒講話</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">【各地区推進協議会による適正飲酒講話状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者、ボランティア団体等と連携した各種広報啓発活動</li> </ul> <p>(3) 児童生徒を対象とした非行防犯教室 将来の沖縄県を担う児童生徒に対し、飲酒が身体に与える影響等について講話を実施した。</p> <p>(4) 風俗環境の浄化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 店舗立入りによる適正飲酒の呼び掛け</li> <li>○ 防犯ボランティア団体と連携したパトロール活動等</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>【立入り状況】</span> <span>【パトロール状況】</span> </p> <p>(5) 福祉的支援に関する市町村への情報提供制度の運用 飲酒に絡む事件・事故等の取扱いによって把握した、行政機関による福祉的支援を必要とする者を、各市町村へ情報提供した。 ※ 令和 6 年 3 月末時点で 8 件の情報提供を実施。</p>	
5 効果	適正飲酒推進優良事業者の認定、関係機関と連携した情報発信等により、県民に対して多量飲酒等が及ぼす様々な問題の周知及び適正飲酒の機運の醸成を図ることができた。	
6 備考		

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画**

**【県警察本部生活安全企画課】**

1 事業名	適正飲酒対策の推進（継続）	予算額
		－ 千円
2 目的	多量飲酒等による事件・事故、健康障害、少年の飲酒問題等が様々な分野に悪影響を与えていることから、「アルコール関連犯罪の防止」対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を図る。	
3 内容	<p>(1) 適正飲酒推進優良事業者認定制度の運用 各地区安全なまちづくり推進協議会と連携して、適正飲酒推進優良事業者認定制度の普及促進を図ることで、県民、事業者等のアルコール関連犯罪防止対策についての機運を醸成する。</p> <p>(2) 関係機関と連携した情報発信 多量飲酒、20歳未満の者による飲酒等の不適切な飲酒が、健康被害に留まらず、事件・事故の当事者になる可能性が高まることや、アルコール関連犯罪防止対策の重要性について県民に周知を図る。</p> <p>(3) 児童生徒を対象とした非行防止教室 将来の沖縄県を担う児童生徒に対し、飲酒による身体に与える影響等について、講話を通じて広く周知を図る。</p> <p>(4) 風俗環境の浄化 アルコールに関連した犯罪や飲酒運転等を防止し、県内歓楽街の風俗環境浄化を図るため、関係機関・団体と連携し、適正飲酒を推進する。</p> <p>(5) 福祉的支援に関する市町村への情報提供制度の運用 警察が飲酒に絡む事件・事故等の取扱いによって把握した福祉的支援の対象となる者について、対象者の住所地を管轄する市町村に対し、生活環境改善のために必要な情報提供を行う。</p>	
4 実施時期	通年	
5 効果	<p>(1) 飲酒絡み事件・事故、路上寝、泥酔保護等の減少</p> <p>(2) 多量飲酒等の改善による県民の健康増進</p> <p>(3) 将来の沖縄県を担う児童生徒の健全育成の実現</p> <p>(4) 店舗営業時間の厳守を始め風俗環境浄化による多量飲酒や20歳未満の者による飲酒事案の改善</p> <p>(5) 警察と行政機関の連携が強化され、適正飲酒対策、健康被害防止対策、アルコール関連犯罪の再発防止対策等の効果が期待できる。</p>	
6 備考		

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告**

**【県警察本部生活安全企画課・県消費くらし安全課・県教育庁保健体育課】**

1 事業名	「ちゅらさん運動フェスティバル(防犯フェア 2023)」の開催	<table border="1"> <tr> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>760千円</td> </tr> </table>	決算額	760千円
決算額				
760千円				
2 目的	<p>犯罪のない安全で安心して暮らせる沖縄県の実現を目指し、県民を挙げて「ちゅらさん運動」を推進するため、防犯寸劇や自転車鍵掛け甲子園・子ども地域安全マップの表彰を行い、県民の防犯意識の高揚と「ちゅらさん運動」の更なる普及・定着を図る。</p>			
3 実施時期	<p>令和5年10月15日(日) 北中城村在 イオンモール沖縄ライカム1階グランドスクエア</p>			
4 実施結果	<p>(1) 主催者あいさつ (2) よしもとエンタテイメント沖縄による防犯寸劇「自転車盗、闇バイト」 (3) 警察音楽隊ミニコンサート (4) 表彰 ア 第9回自転車鍵掛け甲子園 イ 第17回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;"> <span>【防犯寸劇】</span>                      <span>【表彰】</span>                      <span>【記念撮影】</span> </p> <p>※会場において、防犯広報チラシの配布や沖縄県防犯設備協会による防犯設備・器具の展示を実施。</p>			
5 効果	<p>受賞者を含め多くの県民が観覧したほか、イベントを通じて防犯意識の高揚を図り、「ちゅらさん運動」について広く周知した。</p>			
6 備考				

「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画

【県警察本部生活安全企画課・県生活安全安心課・県教育庁保健体育課】

1 事業名	「ちゅらさん運動フェスティバル（防犯フェア2024）」の開催（継続）	予算額
		715 千円
2 目的	犯罪のない、安全で安心して暮らせる沖縄県の実現を目指し、イベントを通して県民の防犯意識の高揚及び「ちゅらさん運動」の更なる普及・促進を図る。	
3 内容	(1) ちゅらさん運動広報啓発活動 （警察音楽隊による演奏、チラシ等の配布） (2) 防犯アトラクション (3) 表彰 自転車鍵掛け甲子園 沖縄県子ども地域安全マップコンテスト (4) 防犯器具の展示	
4 実施時期	令和6年10月（予定）	
5 効果	イベントを開催することで参加者や、来場者に対して「ちゅらさん運動」の周知を図ることができる。 防犯アトラクションや自転車鍵掛け甲子園・子ども地域安全マップコンテストの表彰を通して、児童生徒の犯罪被害回避能力や規範意識の向上が図られる。	
6 備考		

「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告

【県警察本部生活安全企画課】

1 事業名	防犯活動への支援（継続）	決算額																																				
		570 千円																																				
2 目的	犯罪のない安全・安心な地域社会を実現する「ちゅらさん運動」の更なる普及・拡大を図るため、防犯ボランティア団体の防犯活動を支援し、自主防犯活動の活性化や地域の防犯リーダーを育成する。																																					
3 実施時期	通年																																					
4 実施結果	<p>(1) 防犯グッズ支援状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ア 防犯活動用帽子</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">65 個</td> </tr> <tr> <td>イ 防犯パトロール用ベスト</td> <td style="text-align: right;">33 枚</td> </tr> <tr> <td>ウ 懐中電灯</td> <td style="text-align: right;">40 個</td> </tr> <tr> <td>エ 防犯マグネットシート</td> <td style="text-align: right;">42 枚</td> </tr> <tr> <td>オ 防犯腕章</td> <td style="text-align: right;">55 枚</td> </tr> </table> <p>(2) 防犯ボランティア研修会の開催</p> <p>ア 日時・場所 日時：令和6年2月26日（月）午後2時から午後4時までの間 場所：那覇市首里在「沖縄県総合福祉センター5階」501教室</p> <p>イ 受講者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄県自主防犯ボランティア団体連絡協議会会員等</li> <li>・ 学生（専門学校那覇日経ビジネス）</li> </ul> <p>ウ 研修内容</p> <p>自主防犯活動の更なる活性化を図り、安全・安心なまちづくりの取組を効果的に推進するため、自主防犯ボランティア団体連絡協議会会員及び学生等を対象とした研修会をワークショップ形式で実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防犯ボランティアフォーラム参加団体（新都心安全なまちをつくる会）による発表</li> <li>○ 防犯ボランティア活動における課題について</li> </ul>		ア 防犯活動用帽子	65 個	イ 防犯パトロール用ベスト	33 枚	ウ 懐中電灯	40 個	エ 防犯マグネットシート	42 枚	オ 防犯腕章	55 枚																										
ア 防犯活動用帽子	65 個																																					
イ 防犯パトロール用ベスト	33 枚																																					
ウ 懐中電灯	40 個																																					
エ 防犯マグネットシート	42 枚																																					
オ 防犯腕章	55 枚																																					
5 効果	防犯ボランティア団体が必要とする物品を支援することで、防犯活動が活性化され、「ちゅらさん運動」の普及・拡大が図られた。																																					
6 備考	<p>(1) 防犯ボランティア団体の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">団体数</td> <td>596</td> <td>585</td> <td>550</td> <td>540</td> <td>501</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">構成員数</td> <td>17,122</td> <td>17,003</td> <td>17,603</td> <td>17,297</td> <td>16,276</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 青色回転灯車両の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">団体数</td> <td>383</td> <td>372</td> <td>377</td> <td>372</td> <td>331</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">車両台数</td> <td>700</td> <td>712</td> <td>827</td> <td>687</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 防犯ボランティア研修会</p> <p>平成17年度から開催されているが、令和2年、3年度はコロナ禍のため未開催。</p>		区分	R1	R2	R3	R4	R5	団体数	596	585	550	540	501	構成員数	17,122	17,003	17,603	17,297	16,276	区分	R1	R2	R3	R4	R5	団体数	383	372	377	372	331	車両台数	700	712	827	687	697
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																	
団体数	596	585	550	540	501																																	
構成員数	17,122	17,003	17,603	17,297	16,276																																	
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																	
団体数	383	372	377	372	331																																	
車両台数	700	712	827	687	697																																	

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画**

**【県警察本部生活安全企画課】**

<b>1 事業名</b>	防犯活動への支援（継続）	予算額
		548 千円
<b>2 目的</b>	犯罪のない安全・安心な地域社会を実現する「ちゅらさん運動」の更なる普及・拡大を図るため、防犯ボランティア団体の防犯活動を支援し、自主防犯活動の活性化や地域の防犯リーダーを育成する。	
<b>3 内容</b>	防犯ボランティア団体の結成及び県警から貸与した活動装備品の減耗に伴い、新たに活動装備品を購入して貸与するほか、防犯ボランティア研修会等を開催する。	
<b>4 実施時期</b>	通年	
<b>5 効果</b>	(1) ちゅらさん運動の普及、拡大 (2) 防犯活動の活性化による地域の絆の強化 (3) 防犯ボランティア団体の金銭的負担軽減	
<b>6 備考</b>	(1) 令和6年度防犯装備品配布予定 ・防犯活動用帽子 60 個予定 ・防犯用パトロールベスト 30 枚予定 ・防犯マグネットシート 30 枚予定 ・懐中電灯 40 個予定 (2) 防犯装備品の配布状況 ・防犯活動用帽子 8,910 個 (平成16年度～令和5年度) ・防犯パトロール用ベスト 8,953 着 (平成16年度～令和5年度) ・青色回転灯 870 個 (平成17年度～令和4年度) ・LEDライト 250 本 (令和元年度) ・防犯マグネットシート 2,872 枚 (平成17年度～平成30年度、令和4年度～令和5年度) ・懐中電灯 290 個 (平成22年度、令和5年度) R6年度 40個予定 ・PRシート 200 枚 (平成23年度) ・青色合図灯 355 本 (平成27年度、平成30年度、令和4年度) ・登下校見守りオリジナルコースター 500 枚 (平成30年度) ・防犯腕章 55 枚 (令和5年度) (3) 防犯ボランティア研修会の開催	

「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告

【(公財)沖縄県防犯協会連合会】

<b>1 事業名</b>	防犯ポスター・標語・青パト活動写真の募集	決算額																																	
		64 千円 ※ポスター制作費																																	
<b>2 目的</b>	沖縄県防犯協会と各地区推進協議会が連携して事業を実施し、児童・生徒を始めとした県民一人一人の防犯意識の高揚を図ることを目的とする。																																		
<b>3 実施時期</b>	令和5年2月21日から令和5年5月12日までの間																																		
<b>4 実施結果</b>	<p>(1) 募集テーマ 各テーマに沿ったポスター・標語及び青パト活動写真を募集</p> <p>○ 「様々なかたちの防犯ボランティア活動」～防犯ボランティアの裾野の拡大と活性化を目指して～ <span style="float: right;">【ポスター】</span></p> <p>○ 青色回転灯等装備車の活躍 <span style="float: right;">【写真】</span></p> <p>○ 「暴力団排除の徹底」 <span style="float: right;">【標語】</span></p> <p>(2) 応募総数 ポスター67点 青パト活動写真 50点 標語 1,087点</p> <p>(3) 審査会 令和5年6月14日 有識者を交えて実施</p> <p>(4) 審査結果</p> <p><b>【ポスター】</b></p> <p>○ 「様々なかたちの防犯ボランティア活動」</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">最優秀</td> <td style="width: 70%;">宜野湾市立普天間中学校2年</td> <td style="width: 20%;">鏈溝 朱里</td> </tr> <tr> <td>優 秀</td> <td>宮古島市立西辺中学校2年</td> <td>林 心春</td> </tr> <tr> <td>佳 作</td> <td>宮古島市立下地中学校1年</td> <td>根間 萌瑛</td> </tr> <tr> <td>佳 作</td> <td>宜野湾市立普天間第二小学校5年</td> <td>鏈溝 瑠理</td> </tr> <tr> <td>佳 作</td> <td>宜野湾市立はごろも小学校4年</td> <td>山城 和花</td> </tr> </table> <p><b>【写真】</b></p> <p>○ 「青色回転灯等装備車の活躍」</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">最優秀</td> <td style="width: 70%;">沖縄写真デザイン学校</td> <td style="width: 20%;">渡嘉敷 宙</td> </tr> </table> <p><b>【標語】</b></p> <p>○ 「暴力団排除の徹底」</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">最優秀</td> <td style="width: 70%;">金欲しさ 一生後悔 闇バイト 伊是名村立伊是名中学校2年</td> <td style="width: 20%;">諸見川 愛仁</td> </tr> <tr> <td>優 秀</td> <td>暴力団 恐れぬ勇氣 地域の絆 宜野湾市立宜野湾中学校2年</td> <td>仲村 佳穂</td> </tr> <tr> <td>佳 作</td> <td>受け子には 意地でもなるな 断つ勇氣 宮古島市立城東中学校1年</td> <td>小山 蒼介</td> </tr> <tr> <td>佳 作</td> <td>大丈夫? そのアルバイト 危険かも 糸満市立糸満中学校3年</td> <td>玉城 孝介</td> </tr> <tr> <td>佳 作</td> <td>受け子ダメ 怪しい勧誘 断る勇氣 宜野湾市立宜野湾中学校3年</td> <td>安富 一立</td> </tr> </table>		最優秀	宜野湾市立普天間中学校2年	鏈溝 朱里	優 秀	宮古島市立西辺中学校2年	林 心春	佳 作	宮古島市立下地中学校1年	根間 萌瑛	佳 作	宜野湾市立普天間第二小学校5年	鏈溝 瑠理	佳 作	宜野湾市立はごろも小学校4年	山城 和花	最優秀	沖縄写真デザイン学校	渡嘉敷 宙	最優秀	金欲しさ 一生後悔 闇バイト 伊是名村立伊是名中学校2年	諸見川 愛仁	優 秀	暴力団 恐れぬ勇氣 地域の絆 宜野湾市立宜野湾中学校2年	仲村 佳穂	佳 作	受け子には 意地でもなるな 断つ勇氣 宮古島市立城東中学校1年	小山 蒼介	佳 作	大丈夫? そのアルバイト 危険かも 糸満市立糸満中学校3年	玉城 孝介	佳 作	受け子ダメ 怪しい勧誘 断る勇氣 宜野湾市立宜野湾中学校3年	安富 一立
最優秀	宜野湾市立普天間中学校2年	鏈溝 朱里																																	
優 秀	宮古島市立西辺中学校2年	林 心春																																	
佳 作	宮古島市立下地中学校1年	根間 萌瑛																																	
佳 作	宜野湾市立普天間第二小学校5年	鏈溝 瑠理																																	
佳 作	宜野湾市立はごろも小学校4年	山城 和花																																	
最優秀	沖縄写真デザイン学校	渡嘉敷 宙																																	
最優秀	金欲しさ 一生後悔 闇バイト 伊是名村立伊是名中学校2年	諸見川 愛仁																																	
優 秀	暴力団 恐れぬ勇氣 地域の絆 宜野湾市立宜野湾中学校2年	仲村 佳穂																																	
佳 作	受け子には 意地でもなるな 断つ勇氣 宮古島市立城東中学校1年	小山 蒼介																																	
佳 作	大丈夫? そのアルバイト 危険かも 糸満市立糸満中学校3年	玉城 孝介																																	
佳 作	受け子ダメ 怪しい勧誘 断る勇氣 宜野湾市立宜野湾中学校3年	安富 一立																																	

<p><b>5 効 果</b></p>	<p>「様々なかたちの防犯ボランティア活動」のポスター、青色回転灯装備車の活動中の写真の最優秀作品については、令和5年10月11日から10月20日まで実施された「全国地域安全運動」の広報・啓発用ポスターに使用し、自治体を始めとする関係機関に掲示を依頼し、防犯意識の高揚を図った。</p>
<p><b>6 備 考</b></p>	<p>ポスター・青色回転灯等装備車の活動中の写真の各入賞者に対する表彰は、令和5年10月20日に、沖縄県警察本部で開催された防犯功労者・防犯功労団体、全国地域安全運動ポスター・青パト活動写真入賞作品表彰式において表彰を行った。</p> <p>なお、青パト写真で県内最優秀を受賞した作品は、全国防犯協会連合会審査会において、「全国最優秀賞」を受賞した。（暴力団排除の徹底の標語については、暴力団追放沖縄県民会議が受賞者の学校に赴き表彰する予定）</p>

「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画

【(公財)沖縄県防犯協会連合会】

<b>1 事業名</b>	防犯ポスター・標語・青パト活動写真の募集（継続）	予算額
		－ 千円
<b>2 目的</b>	沖縄県防犯協会と各地区推進協議会が連携して事業を実施し、児童・生徒を始めとした県民一人一人の防犯意識の高揚を図ることを目的とする。	
<b>3 内容</b>	<p>(1) ポスター・青色回転灯等装備車の活躍写真及び標語の募集 令和6年のテーマは、現時点未定 ～前年のテーマ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「様々なかたちの防犯ボランティア活動」 ～防犯ボランティアの裾野の拡大と活性化を目指して～ <b>【ポスター】</b></li> <li>○ 青色回転灯等装備車の活躍 <b>【写真】</b></li> <li>○ 「暴力団排除の徹底」 <b>【標語】</b></li> </ul> <p>(2) 応募資格 制限なし</p> <p>(3) 審査方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地区防犯協会を窓口として、各地区ごとに警察署と地区防犯協会にて審査を行い、地区代表作品を選出する。</li> <li>○ 県防犯協会連合会において、地区選出作品を審査会でテーマごとに審査して入賞作品を決定する。入賞者については沖縄県警察本部長、沖縄県防犯協会連合会会長連名表彰を授与する。</li> </ul> <p>(4) 全国防犯協会連合会の審査会へ応募 入賞作品については、沖縄県代表作品として全防連の審査会へ応募する。</p> <p>(5) ポスターを製作し、防犯広報に活用 ポスター・青色回転灯等装備車の活躍写真の最優秀作品については、沖縄県内向けの「全国地域安全運動」用のポスターを製作し、防犯広報に活用する。</p>	
<b>4 実施時期</b>	令和6年3月頃から5月下旬頃までを予定	
<b>5 効果</b>	応募者自身が、安全・安心なまちづくりについて考える機会となり、「ちゅらさん運動」に関心を持つほか、「全国地域安全運動」に向け、入賞作品をポスターにして県内各地に掲示することにより、県民の防犯意識の高揚を図ることができる。	
<b>6 備考</b>		



「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施報告  
【一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー】

<p>1 事業名</p>	<p>安全な沖縄観光地づくり事業 (沖縄県からの受託事業)</p>	<p>決算額 7,117 千円</p>
<p>2 目的</p>	<p>観光客の安全性を確保するため、予防対策の推進と関係機関と連携した課題解決に努めるとともに、台風時の安全対策など安全・安心な観光地を推進すること、観光客に安全・安心に観光をしてもらうことを目的に注意喚起等をまとめた啓発物を配布する。</p>	
<p>3 実施時期</p>	<p>通年</p>	
<p>4 実施結果</p>	<p>(1) 沖縄観光安心安全ガイドのリニューアルおよび配布について</p> <p>① ガイドブックのブラッシュアップ</p> <p>令和5年3月に『沖縄観光安心安全ガイド』を『知っていればもっと楽しめる！安全安心ガイド』へリニューアルを行った。</p> <p>ページネーションを分かりやすくすると共に、まずは手に取っていただくことを目的とし、全体的に親しみやすいデザインへ変更した。主な追加情報としては、令和4年度に発生した山での河川事故（大宜味村ター滝での死亡事故）を受け、沖縄気象台監修のもと、山のレジャーでの注意点（積乱雲がもたらす急激な大雨、いわゆる“カタブイ”による河川の急な増水）などを掲載した。また、デジタルブックへの掲載を行うことで、スマホ等のデジタルデバイスからも閲覧することが可能となった。</p> <div data-bbox="1161 817 1375 1095" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="427 1256 1337 1892" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">「知っていればもっと楽しめる！安全安心ガイド」P.12_山・川のここに注意！</p> <p>【デジタルブック版】</p> <p>日本語版：<a href="#">「知っていればもっと楽しめる！安全安心ガイド」</a></p> <p>英語版：<a href="#">Know the basics for greater enjoyment!</a></p> <p style="text-align: center;"><a href="#">Safety and Security Guide</a></p>	

	<p>②ガイドブックの周知及び配布</p> <p>『安全安心ガイド』については、上記リニューアルに際し周知啓発活動を実施。沖縄県観光協会等協議会、全国旅行業協会（ANTA）、日本旅行業協会（JATA）ほか関係機関のご協力により、観光関連事業者への配布を行うことができた。また、『台風対策マニュアル』については新たに増刷・配布するなどの対応を行った。</p> <p>【配布部数】※令和5年12月時点</p> <p>『安全安心ガイド』 日本語版 13,152部、英語版 3,179部</p> <p><u>『台風対策マニュアル』</u></p> <p>小冊子版 4,964部 カード版（200枚入り） 59箱</p> <p>(2)WEBでの情報発信について</p> <p><u>「沖縄観光パンフレットギャラリー」</u>へのガイドブック掲載を行い、観光客の方への利便を図るとともに、台風接近時は沖縄観光情報WEBサイト「おきなわ物語」及び「VISIT OKINAWA JAPAN」にて「台風対策マニュアル」の掲載をはじめ、台風情報に関する情報発信を行った。</p> <p>「台風対策マニュアル」デジタルブック版</p> <p><a href="https://travel-brochures.okinawastory.jp/okinawa-e-brochures/typhoon_manual_2023/#target/page_no=1">https://travel-brochures.okinawastory.jp/okinawa-e-brochures/typhoon_manual_2023/#target/page_no=1</a></p> 
<p>5 効 果</p>	<p>新型コロナウイルスが5類感染症へ移行後、沖縄県に訪れる観光客が順調に増加する一方、多発する水難事故の状況を受け改めて“安全・安心・快適な観光地”として発信する必要性が高まり、特に当該ガイドブックの周知を中心に事業を行った。事前に情報を得ることで防げる事例も多々あり、また周知啓発活動を行った際、旅行事業者より『安全安心ガイド』の内容について「大変勉強になった」との声もあり、効果を感じた。引き続き内容をブラッシュアップするとともに、周知に努めたい。</p>
<p>6 備 考</p>	

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和 6 年度 事業計画  
【一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー】**

<b>1 事業名</b>	安全な沖縄観光地づくり事業（継続） （沖縄県からの受託事業）	予算額
		未定
<b>2 目的</b>	観光客の安全性を確保するため、予防対策の推進と関係機関と連携した課題解決に努めるとともに、台風時の安全対策など安全・安心な観光地を推進すること、観光客に安全・安心に観光をしてもらうことを目的に注意喚起等をまとめた啓発物を配布する。	
<b>3 内容</b>	<p>(1) 「知っていればもっと楽しめる！安全安心ガイド」の多言語化および配布 観光客の皆様が安全・安心に観光できるよう、海や山でのレジャー時における注意点や、海の危険生物、緊急時の連絡先等をまとめた上記ガイドブックについて、現在英語版のみ制作となっているため、外国人観光客へ向け多言語化を行い配布する。</p> <p>(2) 「台風対策マニュアル」の制作および配布 台風時の安全対策として「台風に関する基礎知識」や「台風を知らない外国人への注意喚起」「台風時に行うべき行動」などを盛り込み、全 5 言語（日本語、英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語）で構成されたマニュアルを沖縄を訪れる観光客へ配布する。</p> <p>(3) 沖縄観光情報 WEB サイト「おきなわ物語」及び「VISIT OKINAWA JAPAN」に『安全安心ガイド』『台風対策マニュアル』等を掲載し情報発信を行う。 また、台風接近時は観光客へ向け台風情報について適宜情報発信を行う。</p>	
<b>4 実施時期</b>	通年	
<b>5 効果</b>	沖縄を訪れる観光客への事前の予備知識としての注意について、周知・啓発を行うことで、事件事故被害を未然に防ぎ「安全・安心・快適な沖縄」としての観光地形成の推進を図る。	
<b>6 備考</b>	当該事業については県からの受託事業となっており、令和 6 年度については令和 5 年 12 月 11 日現在県予算未成立、OCVB への委託も未決定であるため、予算成立及び契約をもって、上記計画を実施することとなる。	



**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告**

**【県警広報相談課 県消費・暮らし安全課（公社）沖縄被害者支援ゆいセンター】**

<b>1 事業名</b>	「犯罪被害者支援を考える県民の集い」の開催結果	決算額
		－ 千円
<b>2 目的</b>	<p>毎年11月25日から12月1日は、「犯罪被害者週間」と定められ、全国一斉に広報啓発活動を実施している。</p> <p>当県においても、より多くの県民の理解と支援の輪を広げる目的で、「街頭キャンペーン」などを実施している。</p>	
<b>3 実施時期</b>	令和5年11月21日(火)～12月4日(月) (犯罪被害者週間前後)	
<b>4 実施結果</b>	<p>(1) 壺屋陶器まつり会場における犯罪被害者支援パネル展・那覇署ミニ警察展</p> <p>ア 日時 令和5年11月24日(金)～26日(日)の3日間</p> <p>イ 場所 那覇市立壺屋小学校校内</p> <p>ウ 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犯罪被害者支援パネル展の開催及び広報資料等の配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害者支援に関するポスター及び活動内容等のパネルを展示</li> <li>・ 警察音楽隊による演奏、那覇署によるミニ警察展を開催</li> <li>・ 来場者に広報資料、法テラスグッズ、ボールペン等を配布</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 運転免許センターにおける犯罪被害者支援パネル展・生命のメッセージ展</p> <p>ア 日時 令和5年11月21日(火)～12月1日(金)の11日間</p> <p>イ 場所 豊見城市豊崎在沖縄県警察運転免許センター</p> <p>ウ 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犯罪被害者支援パネル展、生命のメッセージ展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階で犯罪被害者支援パネル・生命のメッセージ(4体)を展示</li> <li>・ 2階では豊見城署が飲酒運転根絶、交通安全のパネルを展示</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 県立図書館における犯罪被害者支援パネル展の開催</p> <p>ア 日時 令和5年11月22日(水)～12月4日(月)の13日間</p> <p>イ 場所 那覇市旭町在県立図書館</p>	
<b>5 効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病院関係者からゆいセンター等の相談電話番号の記載された名刺型カードを病院に置きたいとの要望があった。</li> <li>○ 小学生用マンガ冊子の内容をクイズにして親子連れに質問、正解者にお菓子を配ったところ、母親から「子供と一緒に考える機会ができて良かった」と好評だった。</li> </ul>	
<b>6 備考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報啓発活動としては、人の集まる祭り会場が効果的ということで昨年引き続き、壺屋陶器まつり会場でのパネル展の開催となった。</li> </ul> <p>今後もあらゆる機会を通じた広報啓発活動を実施していきたい。</p>	

「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画

【県警広報相談課 県生活安全安心課 (公社) 沖縄被害者支援ゆいセンター】

1 事業名	「犯罪被害者支援を考える街頭キャンペーン」の実施について（継続）	予算額
		－ 千円
2 目的	毎年11月25日から12月1日の「犯罪被害者週間」行事として、「犯罪被害者支援を考える街頭キャンペーン」を開催し、社会全体で犯罪被害者等を支える意識の高揚を図るとともに、被害者等の犯罪被害からの早期回復、軽減を図れるよう配慮の重要性等について理解を深める。	
3 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「犯罪被害者支援を考える街頭キャンペーン」の実施</li> <li>○県内のまつり会場及び公共施設におけるパネル展・街頭キャンペーンの実施</li> <li>○警察本部音楽隊、警察署と連携したミニ警察展の開催</li> </ul>	
4 実施時期	11月25日から12月1日までの「犯罪被害者週間」前後の日程で実施予定	
5 効果	参加者からは、多くの人にパネル展を見て貰いたいとの反響があることから継続して実施する必要がある。	
6 備考	令和5年度は、前年同様にまつり会場における街頭キャンペーンとパネル展等を実施したことから、令和6年度においても、社会情勢等を考慮しながら効果的な街頭キャンペーン等広報啓発活動を実施したい。	

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告**

**【県消費・くらし安全課（公社）沖縄被害者支援ゆいセンター】**

<b>1 事業名</b>	犯罪被害者支援に関する市町村「出前講座」及び「法律相談」の開催結果	<b>決算額</b> － 千円
<b>2 目的</b>	「犯罪被害者支援」の重要性及び被害者等の置かれた立場への理解と関心を高めるとともに、犯罪被害者等の居住する市町村においても、被害者個々のニーズに応じた多様な支援サービスを連携して行う必要があるため、各市町村において「出前講座」と併せて弁護士による「法律相談」を行う。	
<b>3 実施時期</b>	令和5年8月9日（水）～ 12月6日（水）	
<b>4 実施結果</b>	<p>(1) 中城村役場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開催日時：令和5年8月9日（水） 午後3時から午後5時</li> <li>○ 参加者：税務課・子ども課職員 2名</li> <li>○ 開催結果：相談を受けた際は他の課と連携して支援に繋げたい。 支援の場があること、どういう支援をしているか、知ることができて良かったとの意見があった。</li> </ul> <p>(2) 豊見城市役所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開催日時：令和5年9月22日（金） 午後1時30分から午後3時</li> <li>○ 参加者：市民協働課・子育て支援課等 15名</li> <li>○ 開催結果：被害者支援から様々な問題が派生するので、情報をより多く持つ事と連携が大切だと思った。 被害者支援はとても大切、支援の必要な人に繋げたいと思った等の意見があった。</li> </ul> <p>(3) 糸満市役所（糸満市要保護児童対策地域協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開催日時：令和5年10月5日（木） 午後4時30分から午後5時</li> <li>○ 参加者：子ども未来課・要保護児童対策地域協議会等 25名</li> <li>○ 開催結果：実務の参考になった、被害者支援の必要性とゆいセンターの活動を知ることができた等の意見があった。</li> </ul> <p>(4) 名護市役所（北部地区戸籍住民基本台帳事務協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開催日時：令和5年12月6日（水） 午後3時から午後4時</li> <li>○ 参加者：県北部12市町村関係職員 17名</li> <li>○ 開催結果：事例も支援の流れや状況を詳しく説明し分かりやすかったDV以外の相談も受けることができると知ったので市民に周知していきたい等の意見があった。</li> </ul>	
<b>5 効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加者の意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関が連携することで、色々な支援が出来ることを再認識でき、犯罪被害者支援について考える良い機会であった。</li> <li>・ 事例検討の研修は、コロナ禍で久しぶりに関係機関の顔が見え、色々な意見が参考になった。</li> <li>・ 連携できる関係機関についても知ることができたので、毎年開催してもらいたい。</li> </ul> </li> <li>○ 充実した講座で被害者支援に対する相談員の意識も高まった。</li> </ul>	
<b>6 備考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年8月17日、犯罪被害者支援庁内関係課職員研修会を実施した際、交通事故被害者遺族の講話（被害者の声）を実施</li> <li>○ 令和5年11月28日、市町村犯罪被害者等施策担当課長会議で交通事故被害者遺族の講話を実施（県主催）</li> </ul>	

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画  
【県生活安全安心課（公社）沖縄被害者支援ゆいセンター】**

1 事業名	犯罪被害者支援に関する市町村「出前講座」及び「法律相談」の開催（継続）	予算額
		－ 千円
2 目的	<p>県内市町村職員等に対し、「犯罪被害者支援」の重要性及び被害者等の置かれた立場への理解と関心を高めるとともに、犯罪被害者等の居住する市町村において、被害者個々のニーズに応じた多様な支援サービスを連携して行う必要があるため講座を開催する。</p> <p>併せて、弁護士による「被害者支援についての講座」又は「無料法律相談」を実施する。</p>	
3 内容	<p>○ 出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害者支援の必要性と関係機関との連携及び事例紹介</li> <li>・ 仮想事例を元にしたグループ討議及び支援活動</li> <li>・ 弁護士による被害者支援について（講座）</li> </ul> <p>※ 個別の法律相談の申込がある場合には、法律相談へも対応する。</p>	
4 実施時期	1年間を通じて、希望する市町村において開催予定。	
5 効果	被害者の居住する市町村においても犯罪被害者を支援する義務があるとの認識を新たにするとともに、沖縄県犯罪被害者早期援助団体「沖縄被害者支援ゆいセンター」について広報することで、センターと関係機関が連携し、何処にいても等しく支援が受けられる体制づくりを構築する。	
6 備考	令和6年度も、より多くの市町村において、積極的に開催する。	

**「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和5年度実施事業報告  
【県文化観光スポーツ部観光振興課】**

<b>1 事業名</b>	観光危機管理体制構築支援事業	決算額
		25,859 千円
<b>2 目的</b>	観光地としての安全・安心を確保するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界と連携して観光危機に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。	
<b>3 実施時期</b>	通年	
<b>4 実施結果</b>	<p>(1) 帰宅支援対策図上訓練</p> <p>震度6強の地震・津波被害を想定し、空港・港等の機能が失われた状態から、観光客を帰宅させるまでのオペレーションについて、関係機関（国、県、市町村、OCVB、観光関連団体等）を交えて訓練を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 : 令和5年11月14日（火）9:00～17:00</li> <li>・場所 : 沖縄空手会館</li> <li>・参加者 : 34団体113名（国・県・市町村・OCVB・観光関連団体等）</li> <li>・内容 : シェイクアウト（初動対応）、帰宅支援対応、模擬記者会見訓練、訓練振り返り、講評</li> </ul> <p>(2) 市町村及び観光関連事業者体制強化支援</p> <p>市町村に対する観光危機管理計画の策定及び見直し、観光関連団体に対するBCPなどの策定及び見直しを目的としたワークショップ型勉強会を実施中。（令和6年1月23日～26日の4日間）</p>	
<b>5 効果</b>	<p>(1) 帰宅支援対策図上訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機による輸送能力に限られる中、県による帰宅の優先順位付が必要との意見・課題を洗い出すことができた。</li> <li>・県内各地に避難している観光客をスムーズに航空機へ搭乗させるため、帰宅までの待機拠点となる「一時待機所」を県で確保する必要性について確認することができた。</li> <li>・多くの参加者同士で直接議論を深めることにより、関係機関の役割や課題等について、共通認識を持つことができた。</li> </ul> <p>(2) 市町村及び観光関連事業者体制強化支援</p> <p>市町村・観光関連団体における観光危機管理意識の醸成を図り、各機関のBCP等の作成・見直しに寄与することが期待できる。</p>	
<b>6 備考</b>		

「ちゅらゆいづくり」関係事業  
令和6年度事業計画

【県文化観光スポーツ部観光振興課】

<b>1 事業名</b>	観光危機管理体制構築支援事業（継続）	予算額
		28,445 千円
<b>2 目的</b>	観光地としての安全・安心を確保するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界と連携して観光危機に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。	
<b>3 内容</b>	<p>(1) 観光危機管理体制運用図上訓練 観光危機発生時において、各機関(国、県、市町村、OCVB、観光関連団体)が役割と行動を認識し、連携して対応できることを目的とした観光危機管理体制運用図上訓練を実施する。</p> <p>(2) 市町村及び観光関連事業者体制強化支援 市町村に対する観光危機管理計画の策定及び見直し、観光関連団体に対するBCPなどの策定及び見直しを目的とした勉強会を実施する。</p>	
<b>4 実施時期</b>	通年	
<b>5 効果</b>	<p>(1) 観光危機管理体制運用図上訓練 観光危機発生時において、各機関(国、県、市町村、OCVB、観光関連団体)が役割と行動を認識し、連携した上での対応力向上が期待できる。</p> <p>(2) 市町村及び観光関連事業者体制強化支援 市町村・観光関連団体における観光危機管理意識の醸成を図り、各機関のBCP等の作成・見直しに寄与することが期待できる。</p>	
<b>6 備考</b>		